

な

直弼大老の

期待に応えし

若き忠順



解説

遣米使節の派遣に際し大老井伊直弼は目付に三十二歳の俊英小栗忠順を抜擢。忠順はフィラデルフィアでの通貨全量分析交渉をやり遂げ、さまざまな場面で際立った対応が光った。ニューヨークタイムズは「小栗はアメリカの進んだ文明の利器を日本に導入することに進んだといわれている」とその先進性をたたえている。

ほ

ポウハタン

遣米使節が

乗った船



解説

遣米使節は米国軍艦ポウハタン号で日本→ハワイ→サンフランシスコ→パナマへ。パナマから鉄道でカリブ海側アスペンウォール。軍艦ロアノウク号でアスペンウォール→ワシントン。帰路は軍艦ナイアガラ号でニューヨーク→アフリカ→インド洋→インドネシア→香港→日本と地球一周の旅をした。